

「医療福祉宣言」

御坂共立歯科診療所

<前文>

御坂共立歯科診療所は、御坂・八代町をはじめとする地域の人々の、40年近い地域の平和と「健康づくり」の運動のなかから生まれた、普段着で来てもらえる歯科診療所です。

山梨勤医協倒産（1983.4）直後であるにもかかわらず開設されたのは、「御坂八代健康を守る会」をはじめとする地域の人々の、「倒産」を越えた強い「要求」があったからです。何人かの「守る会」役員さんから、「赤字になったら、うちの田畑を売る」という赤字補填の話が出されるほど、歯科開設に対する地域の人々の「期待」は、大きいものでありました。

わたしたち御坂共立歯科診療所は、地域の人々の強い期待と信頼に、引き続き応えるために、かかりやすく、地域に根ざした歯科医療を、地域の人々と実践していきます。

<宣言>

1. わたしたちは、診療所が開いている間は、いつでも患者さんを受け入れます。
2. わたしたちは、患者さんや保護者の方と、じっくり話し合うなかで、虫歯や歯並び、義歯・歯周病治療など、赤ちゃんからお年寄りまでの歯の健康管理をめざします。
3. わたしたちは、できるかぎり歯を残す治療、抜かない治療をめざしますが、歯が少なくなっても、特産のくだものや野菜、漬け物が、食べ続けられるようなしっかりした義歯を作ることをめざします。
4. わたしたちは、訪問看護ステーション「たんぼぼ」と協力して、在宅患者さんが自由に食べることができるように、歯科住診と口腔ケアに積極的に取り組みます。
5. わたしたちは、御坂八代健康を守る会をはじめとする地域の人々といっしょになって、命と健康を守り、安心して住める「町づくり」に、取り組みます。
6. よい歯科医療実現のために、診療所職員の生活と権利を守り、一人一人の努力が報われるような職場づくり、信頼し合える仲間づくりをめざします。

2000年1月20日